

楠小学校区つながる会

安全・安心で助け合える地域の絆づくり

楠まちづくり新聞

平成30年度は4部会（研修・総務・広報・高層集合住宅）構成で事業計画への反映をお願いします。

活動報告 その1

研修部会

地域の自主防災意識を高めるため、防災研修施設等への視察や意見交換を行う。

総務部会

防災かまどベンチの管理と運営を推進する。避難所運営マニュアルを適宜見直していく。

防災デイキャンプ

「千代田中学校区青少年健全育成会」が主催する「第3回デイキャンプ」が「千代田小学校区「みんなのまちづくり会」と楠小学校区「つながる会」



との協力で8月11日（土）に「大阪暁光高校」のグラウンドと体育館で行われました。小学生が30名余り、中学生が20名余り、大人が50名以上の参加でした。子どもたちを中心に、大人も昼食のカレーを作るための作業に取り掛かりました。低学年の生徒さんはカレー食材の準備と炊飯のためにお米の準備に、高学年の生徒さんは火おこしを担当しました。スイッチを捻れば火が付くガスコンロではなく、自然のままの木材に火を点けるのは至難の技だったようです。

つながる会
発行
会長
玉崎和実
事務局
白井春夫
広報部
高石正憲



防災訓練では慣例になったバケツリレーを行ったり、楽しくゲームをして定刻まで過ぎました。



千代田中学校区青少年健全育成会の主催で行われ「つながる会」は「防災体験コーナー」を担当しました。



パラエティーフェスタ



軽食を提供するお店や小物を販売するお店があったり。



子どもから大人まで遊べるコーナーがあったり、大人顔負けの演舞があったりと、まさしくパラエティーに富んだ5時間余のイベントでした。



2019年度 「つながる会」総会

6月2日 日曜日

10時～ 松ヶ丘集会所

活動報告 その2

防災訓練

第四回防災訓練を12月9日に大阪暁光高校の運動場および総合館内で実施しました。



参加自治会（町会）は13団体で百八十五名、その他団体が百二名、総勢二百八十七名の方が参加されました。



アンケート用紙への記入をお願いし、現在の集計結果が出ています。回収されたのは百五十二枚で、男性がやや多めの参加です。六十歳代と七十歳代の方が半数近く

今回、大阪暁光高校の生徒さんに幾つか作業をお願いしました。



高校生の発表に高評価が付いています。よのこ」とん汁」がおいしかったとの言葉がありました。寒さのせいだけでなく本当においしかったと実感しています。



床に「マイルディシート」を防寒用に敷いておいたのですが、訓練当日はかなり冷え込みましたので、総合館内の講演会は寒かったとの回答が多かったです。

さらに試みとして講演会をメインにし実技（応急手当、患者搬送、パケツリ等）は行いませんでしたので、少し物足りなかったとの意見もありました。

「楠まちづくり新聞」十八号で募集をかけたシンボルマークが左の様に決定しました。



シンボルマークの色は紺色、緑色、水色の3種類を基本にし、実際の色合いは印刷の都合で少し違って見えます。事前に購入したピンク色のベストの背中中央にシンボルマークを印刷しました。



早速12月の防災訓練に「つながる会」の人間が着用して具合等確かめてみました。



広報部会

自治会等の活動を支援し、様々な地域課題や情報を共有し、その解決に

楠小学校区つながる会
安全・安心で助け合える地域の絆づくり

30年度定期総会

楠小学校区つながる会
安全・安心で助け合える地域の絆づくり

第3回防災ディキャンプ報告

楠小学校区つながる会
安全・安心で助け合える地域の絆づくり

自主防災会

向けて連携を促すため、広報紙「楠まちづくり新聞」を適宜発行（継続）する。今年度は現在まで3回発行しました。

自治会等を通して各戸に配布しています。ホームページにて、活動報告や情報発信をしました。

ボララフエス参加

2月24日に第19回ボララフエス・市民活動フェスティバルが「るーぶら」が主催、教育委員会後援で開催されました。

「つながる会」も各小学校区のまちづくり協議会同様に活動実績等を発表しました。

過去5年間の活動を左記の様なポスター形式に整理して展示しました。今後ともつながる会への、今までも変わらない支援をお願いします。

楠小学校区 つながる会

つながる会 全体

研究部

広報部

高齢者住宅部

市内各町会・小学校区・地区自治会等と連携し、地域課題の解決に努めます。

所収マップ (2017.03)

協議会設置年次 (2018.01)

高層集合住宅部会

高層集合住宅独自の「まちづくり」の問題点を話し合い、地域との協働を目指しています。

マンションなどの集合住宅は耐震性に優れている反面、大きな揺れによるエレベーターの閉じ込め・運転停止などが考えられます。

ライフラインの停止等による、高層階での在宅避難をせざるをえないといった特徴があります。こういった諸問題の解決に向けて検討を重ねています。

編集後記

まちづくり新聞の第二十一号をお届けします

メール kusunoki.info@gmail.com

<https://ksrd.jp/kusunoki/>

つながる会